

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年11月4日（火）

2 確認箇所

- ・使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（図1）

3 確認項目

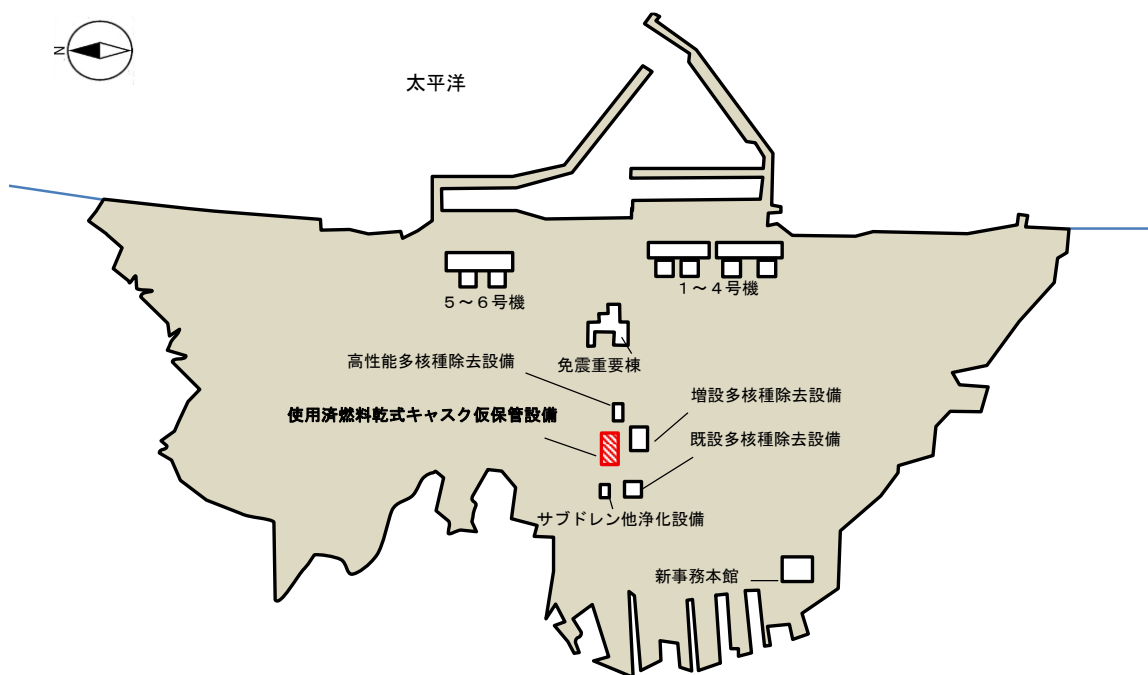
- ・使用済燃料乾式キャスク仮保管設備増設工事の状況

4 確認結果の概要

東京電力では、各原子炉建屋の使用済燃料プールで保管している使用済燃料について、より安全性の高い共用プールにおいて集中管理するため、各使用済燃料プールから共用プールへの移送を進めている。一方、共用プールでは保管容量を確保するため、十分に冷却が進んだ使用済燃料を乾式キャスク（1基あたり使用済燃料を69体収納可能）に装填し、構内の使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（以下「仮保管設備」という。）に移送し保管している。しかし、現在の仮保管設備では想定する保管容量に満たないため、令和5年2月に保管容量を30基増設する工事が開始された。増設される箇所の運用開始は、令和8年10月頃の見込みとなっている。なお、仮保管設備の保管容量は令和7年7月末時点で、上限（65基）に達している。

仮保管設備敷地東側の増設箇所では、工事が現在も継続中であることから、その進捗状況を確認した。（前回確認：[令和7年8月1日](#)）

- ・仮保管設備増設箇所におけるコンクリート基礎の配筋作業は、ほぼ完了していた。また、北側部分（第1、第2レーン）においては、コンクリートの打設が完了し、地面からの立ち上がり擁壁部の確認作業が行われていた。（写真1）
- ・工事に使用する資材は、ワイヤー等で固縛され、整理された状態で保管されてあった。（写真2）
- ・仮保管設備敷地増設箇所の最南端（第4レーン）においては、組み上がった配筋部分に専用車から引き込まれたホースにより、コンクリートを流し込む作業が行われていた。（写真3）
- ・確認した範囲において、不適切な管理箇所はなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)コンクリート打設の状況①南側



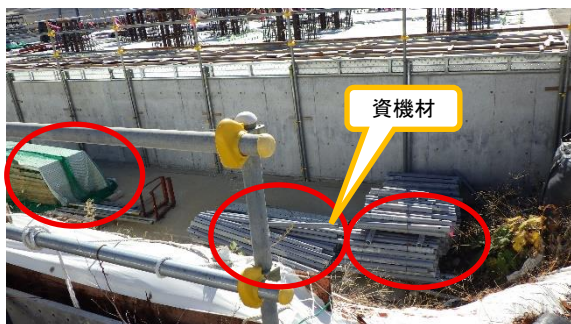
(写真1-2)コンクリート打設の状況②



(写真1-3)コンクリート打設の状況①北側



(写真1-4)コンクリート立ち上がり部分



(写真2) 工事用資材の仮置き状況



(写真3) 専用車でのコンクリート注入

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。